

無所属



市内全域が持続ある発展を
目指して施策を進めよう

小泉 春雄 議員

持続可能な地域を
目指して

問 市街化調整区域をどの
ように持続可能な地域に創
りあげていくのか。

まちづくり政策部長 情報
提供や専門家の派遣などの
支援を行いながら地域と連
携して取り組んでいく。

どうなるリトアニア
共和国との交流

問 事前キャンプに関する
協定締結からひらつかリト
アニア交流推進実行委員会

問 今後の交流を伺う。
市民部長 リトアニア出身
の国際交流員がリトアニア
の魅力を紹介し、リトアニアの都市に
対して本市の魅力を紹介する
などのさまざまな取り組み
を進めていきたい。

問 リトアニアに特化した
新たな交流組織の立ち上げ
についての考えを伺う。
市民部長 本市には国際交
流協会があり、そこに担っ

可決した
決議

議員からの提出議案として、本会議の5日目に次の決議が提出され、全員異議なく可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

ロシアによるウクライナ侵略
を非難し、抗議する決議(抜粋)

ロシアの武力攻撃は、ウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態である。また、世界の平和と秩序、安全を脅かし、かつ明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。

平塚市議会は、ロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し、最も強い言葉で非難すると共に強く抗議の意を表す。国際法に基づき、ロシア軍は完全かつ無条件で即時に撤退を強く求める。また、政府に於いては、引き続き、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求める。

てもらう形になる。

問 市長はリトアニアのさまざまな人と交流をしたが、姉妹都市の話をしたことはあるのか。

市長 リトアニア政府関係者などとも姉妹都市を結んでいくという話をした。3つの大都市からは本市と交



青少年会館の閉館に
伴う利用施設の転換

問 各団体の転換先施設を
考える必要があるが、どの
ように考えているのか。

健康・こども部長 限られ
た資源を使ってもううほかに
方法は無いと思っ
ている。各団体の活動の仕方
や考え方もだいぶ変わってき
ているので、ルールに基づ
き公平に使ってもらいたい
と考えている。

問 各団体に対して丁寧な
説明は行うのか。
健康・こども部長 現時点
では個別説明のみで説明会
などは考えていない。基本
的にはホームページや紙な
どで案内をしていきたい。

問 クラブの実情に沿った
形での施設機能整備と、学
校内の他設備の利用を柔軟

放課後児童クラブの
余剰教室の活用

問 クラブの実情に沿った
形での施設機能整備と、学
校内の他設備の利用を柔軟

流をしていきたいとの申し
出もあつたが、すぐにやる
と言えないので、いろいろ
な交流を含めて行っていこ
うと話をした。

問 市制施行90周年事業と
して姉妹都市締結を考えら
れないか。
市長 候補の一つとして考
えたが現段階では盛り込む
ことが難しいと判断した。

このほかの質問 小・中
学校のプールの今後

青少年会館、放課後児童クラ
ブ、保育所等の代替保育

久保田 聡 議員

問 対応してもらいたい
把握している状況や課題へ
の見解を伺う。
健康・こども部長 施設管
理上、一定程度制限せざる
をえない状況である。今後
普通教室に戻す場合に原状
復帰が可能な状態で使用す
る必要がある、クラブが希
望する使い方ができない場
合があると認識している。

問 家庭科教室などが使え
れば柔軟にクラブ運営がで
きると思うが見解を伺う。
学校教育部長 衛生面や安
全面で教育活動に支障が出
る恐れがあり、現状では開
放していない。

問 緊急事態に備えた考え
方や施設整備が必要と考
えるが見解を伺う。
健康・こども部長 関わる
全ての人が安心して保育が
できる環境づくりを研究し
ていく。

問 緊急事態に備えた考え
方や施設整備が必要と考
えるが見解を伺う。
健康・こども部長 関わる
全ての人が安心して保育が
できる環境づくりを研究し
ていく。

問 緊急事態に備えた考え
方や施設整備が必要と考
えるが見解を伺う。
健康・こども部長 関わる
全ての人が安心して保育が
できる環境づくりを研究し
ていく。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案9案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第24号 令和4年度平塚市一般会計予算

問 一般管理費の平和意識普及・啓発事業について、今後どのような内容で取り組むのか伺う。

答 本市の平和推進事業は、市民と一緒に「I LOVE PEACE事業運営委員会」を組織して実施しているが、この2年間はコロナの関係で組織ができない状況だった。来年度はコロナの状況にもよるが、組織することができたら、意見を聞きながら事業を進めていきたいと考えている。

問 防災対策費の災害用備蓄拡充事業について、総合公園の防災倉庫の中かなり数多くのものが収納されているが、保存食などの期限があるものの管理を伺う。

答 備蓄品については、賞味期限や使用期限が概ね6か月を切った食料や物資等を自治会等の訓練やイベント等で活用したり、フードバンク活動に提供したりして有効活用を図っている。

都市建設

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第24号 令和4年度平塚市一般会計予算

問 道路維持費の道路施設改修事業について、平塚市幹線道路等舗装維持管理計画を基に進めていると思うが、進捗率とバリアフリー整備の内容を伺う。

答 計画延長5.2キロメートルのうち14パーセント程度完了している。バリアフリー整備はバリアフリー基本構想に基づき、歩道の巻き込みの改修など、障がい者に優しいまちづくりを行っている。

問 消防施設費の消防車両整備事業について、3年度がゼロになっている理由と4年度の予算内容を伺う。

答 3年度は消防の本署整備事業という大型のハード事業があり、車両の更新を見合わせたためゼロであった。4年度の予算は1億4千万円を超えており、更新する車両は、消防ポンプ自動車、救急車、水上のオートバイ、分団の車両2台を更新する予定である。

環境厚生

議案7案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第24号 令和4年度平塚市一般会計予算

問 社会福祉総務費の福祉総務庶務事業について、福祉会館等感染症対策コーティング施工委託料とあるが、どこの施設で行うのか。

答 福祉会館3館と栗原ホーム、余熱利用施設など福祉総務課で管理している健康福祉に関わる施設でコーティングを行う。

問 社会福祉総務費の共生社会ホストタウン事業について、これはいつ、どのようなことを行うのか伺う。

答 現在、4年度の予算の引き継ぎ、事業について関係課を含めて協議を行っているところである。4年度に福祉総務課が音頭を取って、主にひらつかパラリンピックスポーツ体験会の実施を予定しているが、具体的にはまだ決まっていない状況であり、オリンピック・パラリンピック推進課で行った事業を参考に、事業を行っていきたい。

教育民生

議案5案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第24号 令和4年度平塚市一般会計予算

問 義務教育振興費の児童生徒就学援助事業について、3年度の申請件数と基準となる金額を伺う。

答 件数は、3年度はまだ途中なので見込みになるが、申請数は2181件、そのうち認定数が2050件であった。金額は参考にいくつか挙げると、学用品費が小学校で1万1630円、中学校で2万2730円。新入学用品費が小学校で5万1060円、中学校で6万円となっている。

問 公民館費の地区公民館整備事業について、旭北公民館管理人棟解体及び駐車場整備工事費が計上されているが、解体工事のスケジュールを伺う。

答 旭北公民館管理人棟の解体スケジュールは、入札前なので概略になるが、夏の終わり頃から工事を始め、駐車場整備を含めて年内に終わるイメージである。